

災害情報の入手

田辺市・和歌山県が発表する避難情報

田辺市ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>
 田辺市防災行政情報システム『防災・行政メール』 <http://bousaigyousei.aamail.aikis.jp/>
 防災・行政テレフォンガイド 0120-963-910 (フリーダイヤルのため通話料金はかかりません。)
 防災わかやま <http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp/>
 防災わかやまメール配信サービス <http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp/mail/mail.html>
 (気象情報、河川水位情報、雨量情報、避難勧告などの情報を携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするサービスです。無料で登録できますのでぜひご利用ください。)



和歌山県防災ナビ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/d00155183.html>
 [スマホで避難先検索・防災情報のプッシュ通知・家族等が避難した場所の確認・避難トレーニングができるアプリです。ダウンロードおよび利用は無料です。(通信料は別途がかかります。)]



台風情報・大雨や洪水注意・警報等

気象庁のホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 地デジ対応テレビのリモコンのdボタンを押し、防災情報の項目を選択すると、ほぼリアルタイムの防災情報を見ることができます。
 (現在はテレビ和歌山とNHK和歌山放送局で見ることができます。)



洪水に備えた事前の心構え

避難場所や避難路を事前に確認

家族が別々に避難することも考えられます。前もって連絡先や集合場所を決めておきましょう。



普段から地域での助け合い活動を

お年寄りや身体の不自由な方など、自ら避難するのが困難な方もいます。普段から気配りをしましょう。



地域の避難訓練に参加しましょう

自治会等の避難訓練に参加しましょう。訓練の際には、ハザードマップを活用しましょう。



日頃からの備えが大切

非常持出品

被災時・非常時にまず持ち出すもので、最初の一日をしのぐために必要なものの一例です。できるだけコンパクトにまとめて避難袋やリュックに入れ、玄関など場所を決めて準備しておきましょう。男性15kg、女性10kg、高齢の人や子供は6kgが持ち運びの目安となります。

	チェック欄	品名
貴重品類		現金(公衆電話用10円玉)
		預金通帳・印鑑
		健康保険証
		運転免許証
避難用具		懐中電灯
		携帯ラジオ
		予備の乾電池
		ヘルメット・防災ずきん
生活用品		厚手の手袋
		毛布
		ライター・マッチ
		携帯用トイレ
救急用具		処方箋の控え・お薬手帳
		常備薬
		生理用品
		飲料水
非常食品		缶詰
		アメ・チョコレートなど
		下着・靴下
衣料品等		長袖・長ズボン
		防寒用具・雨具・長ぐつ

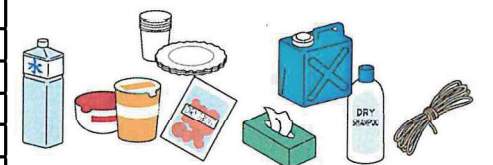


	チェック欄	品名
必需品・貴重品		車や家の鍵
		眼鏡・コンタクトレンズ
		補聴器
乳幼児用品		持病薬
		粉ミルク
		哺乳瓶・洗浄剤
		離乳食
		紙おむつ・ウェットティッシュ
		バスタオル・ガーゼ
		母子健康手帳
高齢者用品		ベビーカー・おんぶひも
		おむつ
		入れ歯・洗浄剤

備蓄品(1週間分。最低でも3日分)

避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出すことや、自宅で避難生活を送ることを想定して、必要な備蓄品を備えておきましょう。

	チェック欄	品名
食料品		レトルト食品(ごはん・おかゆなど)・アルファ化米
		インスタントラーメン・カップみそ汁
		飲料水(1人1日3リットルが目安)
避難用具		給水用ポリタンク(生活用水用に水をためておく)
		カセットコンロ
		ティッシュペーパー・ウェットティッシュ
		ラップフィルム
生活用品		紙皿・紙コップ・割り箸
		簡易トイレ
		水のいらぬシャンプー
		ビニール袋



実践してみようローリングストック法(日常備蓄)

日常購入している食品や飲料、日用品を普段より多めに購入し、期限が近いものから消費していき、全てなくなる前に購入していく方法です。特別な製品を購入する必要が無く簡単に始められる方法ですので、まずはここから実践してみましょう。

